
はじめに

核家族世帯や単独世帯の増加にみられる家族形態の多様化に加え、新型コロナウイルス感染症が経済的・社会的に深刻な影響を与え、生活環境は大きく変化しました。特に女性は、家事等の負担が増加したり、雇用・所得への影響が強く表れていることから、男性の家事・育児への参加や、女性の社会進出を推進するなど、性別に関わらず、個人がその個性と能力を十分に発揮できる社会をつくることが重要です。

和歌山県では、和歌山県男女共同参画推進条例(平成14年施行)に基づき、第4次和歌山県男女共同参画基本計画(計画期間：平成29年度から平成33(令和3)年度)を策定し、「男女共同参画でつくる元気な和歌山」の実現に向け総合的・計画的に施策を推進しているところです。

本書は、和歌山県男女共同参画推進条例第17条の規定に基づく報告書として、令和2年度における本県の男女共同参画施策の実施状況や県民の皆さんの取組状況などを取りまとめたものです。

令和2年度における数値目標の進捗を見ますと、県の管理職員に占める女性の割合や、「女性活躍企業同盟」参加企業・団体数といった項目が伸びていることから、女性の活躍に対する関心の高まりや女性の社会進出が着実に進みつつあるといえます。

一方で、令和2年度実施の「男女共同参画に関する県民意識調査」では、社会全体において「男性が優遇されている」と感じている方が多いことや、改善しつつあるものの「男性は仕事、女性は家事・育児」といった固定的性別役割分担意識が依然として残っていることがわかりました。

県では引き続き、女性にとっても男性にとっても楽しく暮らしやすい「元気な和歌山」の実現に向け、様々な取組を強力かつ効果的に進めていきます。

本書を通じて、県民の皆さんに男女共同参画の現状や県の施策に関する理解と認識を深めていただくとともに、職場、学校、地域、家庭における男女共同参画社会づくりに向けての一助としていただければ幸いです。

令和4年(2022年) 3月

和歌山県環境生活部長 生駒 享